

英語を楽しく

☆正しいようで正しくない かんちがい英語

1. table manner

「テーブルマナー」と日本語では言っていますが、正しくは、「+s」して「table manners」といいます。または、「manners at the table」ということもあります。

なお「テーブルチャージ」は「cover charge」

「テーブルセンター」は「centerpiece」

「テーブルスピーチ」は、「after dinner」よくもまあ、たくさん和製英語を作ったものです。

2. ボーイ boy

レストランのボーイは、「waiter」

ホテルのボーイは「bellboy」



英語ってこまかく分れる
のだね

注意 「boy」には「召使」意味もあり、
軽蔑的な語であるので使わない。

3. タラップ

「タラップ」はオランダ語の trap。

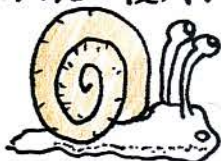
英語で、船の場合は 「accommodation ladder」

飛行機の場合は 「ramp、 rampway、 landing」

正しい英語と
思っ...。



まちがえて使っていたがも



飛行機の搭乗口は必ず機体の左側ですね。
それは、船が港に着いたとき、船の左側を
岸に付けて乗り降りしていたからそうしたのです。

4. ノック

ドアのノックは、knock ノックアウトのノックは、knockout。しかし野球のノックは言葉そのものがない。従って、野球の練習時に「ノックして・・・」という言葉がない。それで、「練習のためにゴロやフライを打つこと」と説明的に言うしかない。

5. スチュワーデス

英語の stewardess からきている。最近では flight attendant を用いるのが一般的。

スチュワーデス・パーサー (purser) などの乗務員をまとめて cabin crew と呼ぶ。
機内でスチュワーデスに声をかける場合は

“Excuse me, stewardess.”

steward (男性) 給仕, 幹事, 世話役 ・ steward+ess で stewardess (女性)